

『鑑定ひろば』 200号発刊を祝して



国土交通大臣
石井 啓一

公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会の機関誌『鑑定ひろば』が創刊200号を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

また、貴連合会におかれては、昭和40年の創設以来52年の長きにわたり、専門職業である「不動産鑑定士」による唯一の全国団体として、①鑑定評価の品質向上、②職業倫理の確立、③地域社会への貢献に御尽力頂いているところであり、深く敬意を表する次第です。また、平素から国土交通行政の推進に多大なる御理解と御協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、昭和39年に不動産鑑定評価制度が本格的にスタートして以来、不動産鑑定評価制度は、適正な地価等の形成に大きく貢献し、今や不動産市場における重要な情報インフラとなっています。そして、昨今では、リート市場の拡大や空き家問題への対応等、不動産鑑定士の役割は益々大きくなっているところです。

さらに、不動産鑑定評価制度をめぐるには、①農地や動産の評価といった鑑定評価のニーズの拡大、②所有者不明土地問題等の克服に向けた取組、③苦情相談等の利用しやすい仕組みづくり、④人材の確保・育成など、様々な期待と課題があります。

国土交通省といたしましては、不動産鑑定士が時代のニーズに即して一層活躍できるよう、鑑定評価制度の見直しを進めて参ります。

結びに、貴連合会が、引き続き不動産鑑定評価制度の発展に御尽力頂くことを期待しますとともに、貴連合会の今後の益々の御発展と、そして貴誌が不動産鑑定士相互のパイプ役として、さらには不動産鑑定評価制度のPR役として益々発展されますことを心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。